

会津は米どころ コシヒカリ・ひとめぼれの特A産地!!

両沼地方稲作情報 第5号

平成26年8月22日

発行：JA会津みどり営農部・各総合支店

福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所（電話0242-83-2112）

”

金山普及所（電話0241-54-2801）

1 今後の気象情報

今後1ヶ月の気象ですが、平均気温が「平年並みまたは高い見込み」となっております（8月15日 仙台管区気象台発表）。今年も近年同様、猛暑となる模様です。登熟が早く進むことが予想されるので、刈り遅れにならないように注意しましょう！

2 水稻の生育状況

ひとめぼれの出穂期は、平坦部で8月1日頃、山間部で8月4日頃となりました。

コシヒカリの出穂期は、平坦部で8月7日頃、山間部で8月10日頃となり、いずれも平年より3～5日程度早まっています。

3 品質向上対策

（1）刈り取り適期

出穂後の平均積算気温による刈り取り適期の目安は、950～1,050℃の期間です。下の表を参考にして、刈り遅れにならないよう、適期に収穫しましょう。

表 出穂後積算気温

品種	平均出穂期	到達日（予想）			
		900℃	950℃	1,050℃	1,100℃
ひとめぼれ(平坦部)	8月1日	9月6日	9月8日	9月12日	9月15日
コシヒカリ(平坦部)	8月7日	9月14日	9月17日	9月21日	9月25日
ひとめぼれ(山間部)	8月4日	9月11日	9月14日	9月18日	9月20日
コシヒカリ(山間部)	8月10日	9月18日	9月20日	9月23日	9月29日

※8月19日までは実測値(日平均気温)を、以降は過去5カ年の日平均気温の平均値を使用した。なお、平坦部は若松アメダス、山間部は金山アメダスのデータを使用した。

なお、積算温度による適期刈取の判断は1つの目安にすぎませんので、穂の黄化状況を最終判断をしましょう。

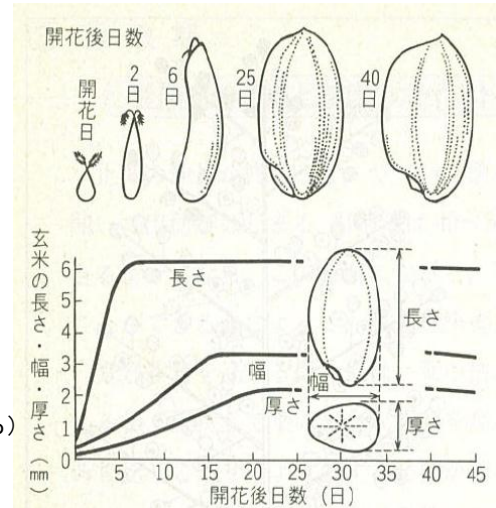
穂についての籾が黄化し、全体の10～15%緑色籾が残っている頃（籾の黄化率85～90%）が刈取適期です。葉色に惑わされずに判断しましょう。

(2) 落水時期

米粒は開花後25日まで急速に肥大する（特に十分な厚みができるまでに時間がかかる）ので、間断灌溉により土壤水分が不足しないよう注意しましょう（右の図1を参照）。

出穂25～30日後を目安に落水し、収穫に備えましょう。なお、ほ場の土壤条件によって落水時期を調整しましょう。

図1 玄米の外形発達経過（品種：よねしろ）
（星川清親、昭和47年より）



(3) 胴割粒発生防止

24年産コシヒカリの「胴割粒」発生は、9月25日頃までの降雨ではほとんど増加しませんでした。9月30日の降雨と刈遅れにより急激に増加しました。（右の図2を参照）

胴割粒の多発生は、24年産会津コシヒカリの「特A」陥落の要因の一つとなりましたので、刈遅れにならないよう適期刈り取りをお願いします。

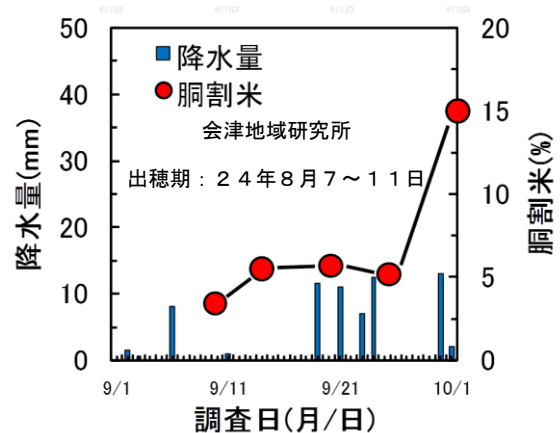


図2 24年産コシヒカリ胴割粒発生

●稲わらを焼却するのは止めましょう。



稲わらは貴重な有機資源です。燃やさずに、水田にすき込むなど有効活用しましょう。

稲わらのすき込みは、土壤を柔らかくし、地力を増やす効果があります。

●コンバイン事故に注意しましょう。

今年も水稻の収穫作業が始まります。コンバインでの重大事故が多いため、作業にあたっては十分に注意しましょう。

- ・ 点検・調整時にはエンジンを止める。
- ・ はずしたカバーは必ず戻す。
- ・ 畔越えの時の転倒防止…基本は通路で移動する。

